

2013年1月10日（木）北海道高等学校教育研究会英語部会研究集会

心にタネをまく英語授業

～生徒と共に楽しく学べる授業を目指して～

北海道阿寒高等学校 英語科 澤田 大輝



Welcome to this seminar!



澤田 大輝 (Taiki Sawada)

- ・ 2008年3月 小樽商科大学商学部
社会情報学科卒業
- ・ 2008年4月 北海道阿寒高等学校赴任
- ・ 2010年7月 HTEPアルバータ州立大学
派遣参加
- ・ 2012年度、阿寒高校勤務5年目



本日の発表内容

1. 心にタネをまく授業へ至る道
2. 5年間を振り返る ～実践報告～
3. 未来へ向けて ～まとめ～





1. 心にタネをまく授業へ至る道



北海道阿寒高等学校

- ・ 全校生徒 125名
 - 2・3学年2間口
 - 1学年1間口



- ・ 2013年度
地域キャンパス校に指定



北海道阿寒高等学校



**6~7割の生徒が
(旧) 釧路市内から通学**



生徒が抱える、様々な問題

経済的に
厳しい家庭

続出する
成績不振者

中退者

指導事故

特別支援

(最近はだいぶ落ち着きました...)

→そんな中、英語の授業では何ができるか？

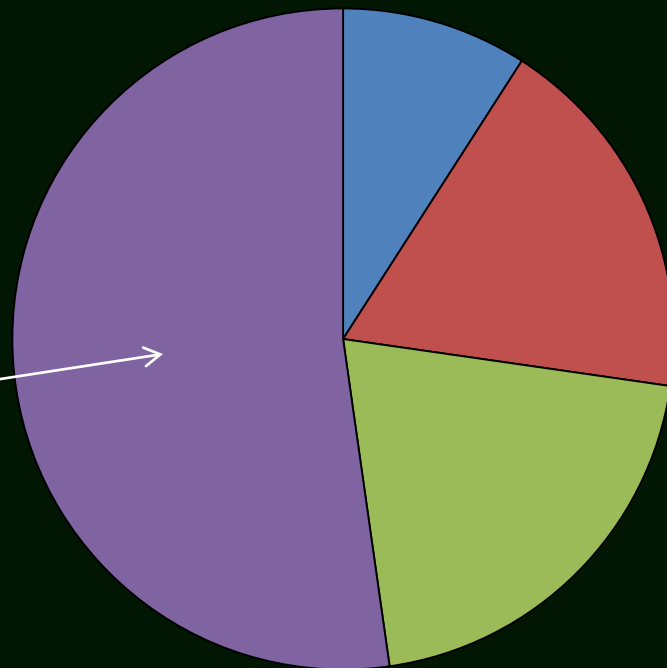


英語は好きですか？

そう思わない

52.3% !

(全道平均35.2%)



とっても嫌われています...涙



じゃあ、英語はいらない？

「英語の勉強は大切だ」

「英語の勉強は将来役に立つ」

→ そう思う + どちらかといえは
そう思う = **50.0%**

キライだけど、やらなくちゃ...(´・ω・´)



楽しさの中に、学びがある

- きっかけをつかめば人は伸びる

(NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀

～なにくそ！負けたらあかん英語講師 竹岡弘信の仕事』)

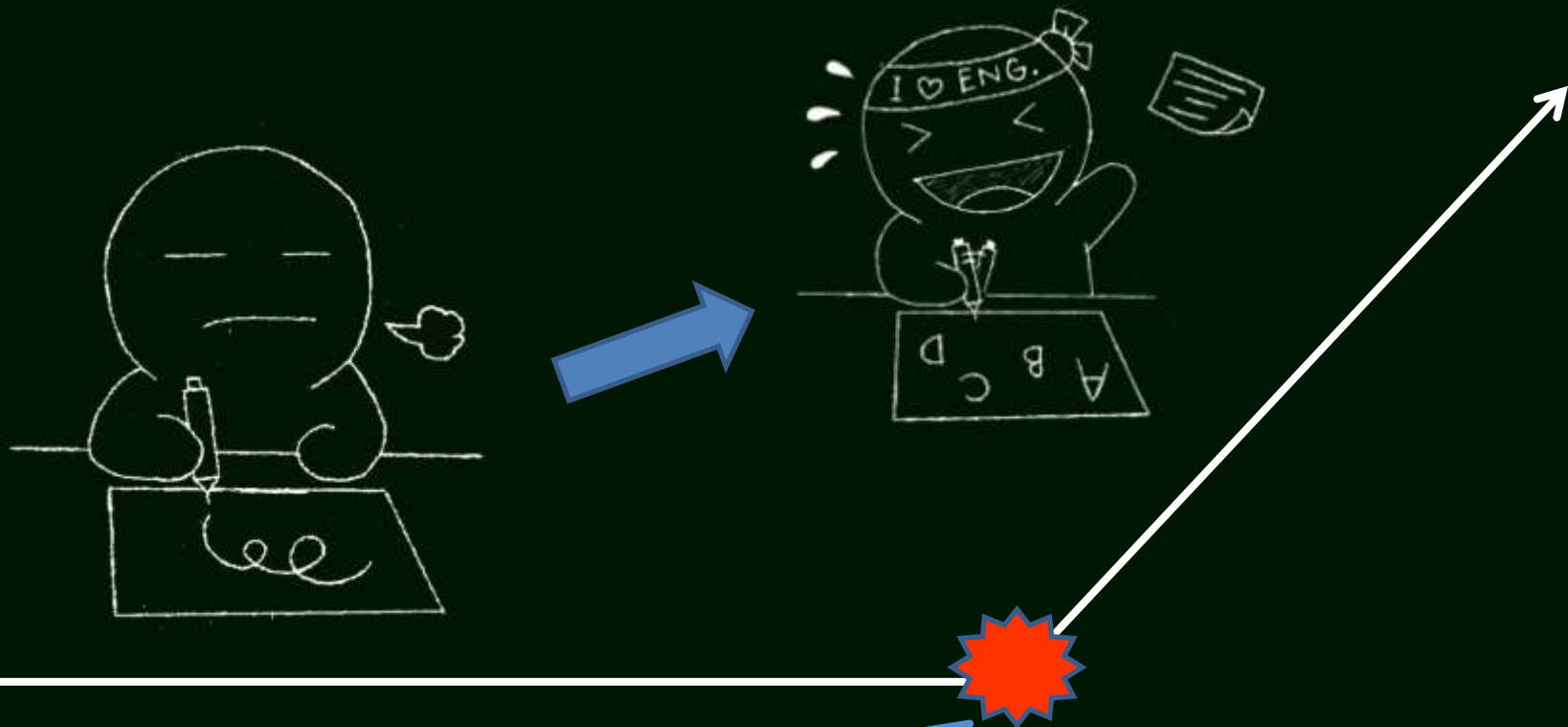
- 英語を教えるとともに、
「英語の楽しさ」を伝えたい！



interesting!



Tipping Point(Malcolm Gladwell)

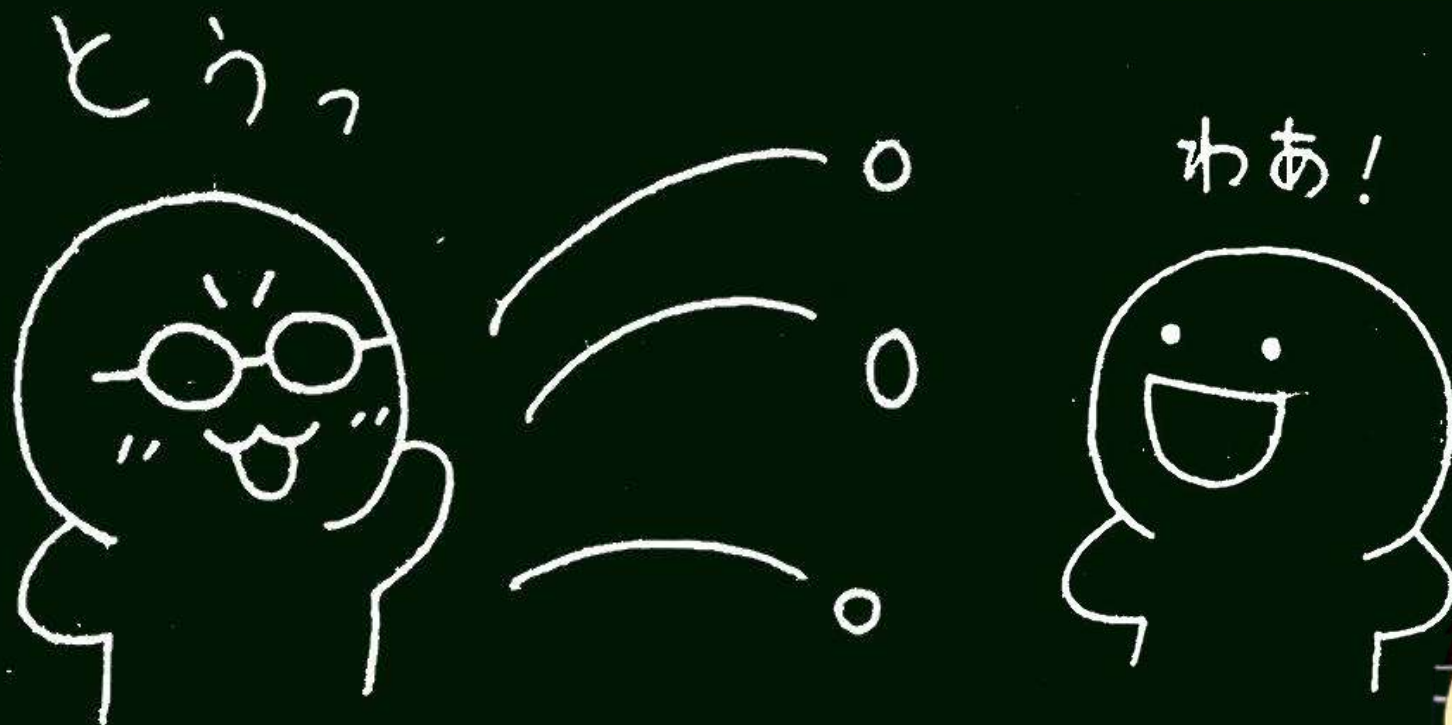


英語の面白さに気づけば、生徒は
自ら動き出す (Tipping Point)



生徒の心に、タネをまく

- ・ 英語への興味を喚起するような
タスク、教材、授業づくりの工夫



興味のタネに、水をやる

- ・ 授業の中で楽しくトレーニングを重ね、興味のタネを膨らませる。



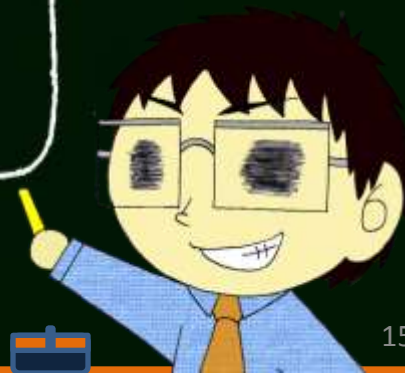
興味のタネが、芽を出す

- 「英語が楽しい！」という気持ち
が芽を出す瞬間を共に目指す！

やったあ！



たのしー！



2. 5年間を振り返る ～実践報告～



本校の英語科カリキュラム

必修科目（習熟度別クラス展開）

- ・ 1学年 英語Ⅰ：4単位
- ・ 2学年 英語Ⅱ：3単位
- ・ 3学年 英語Ⅱ：3単位

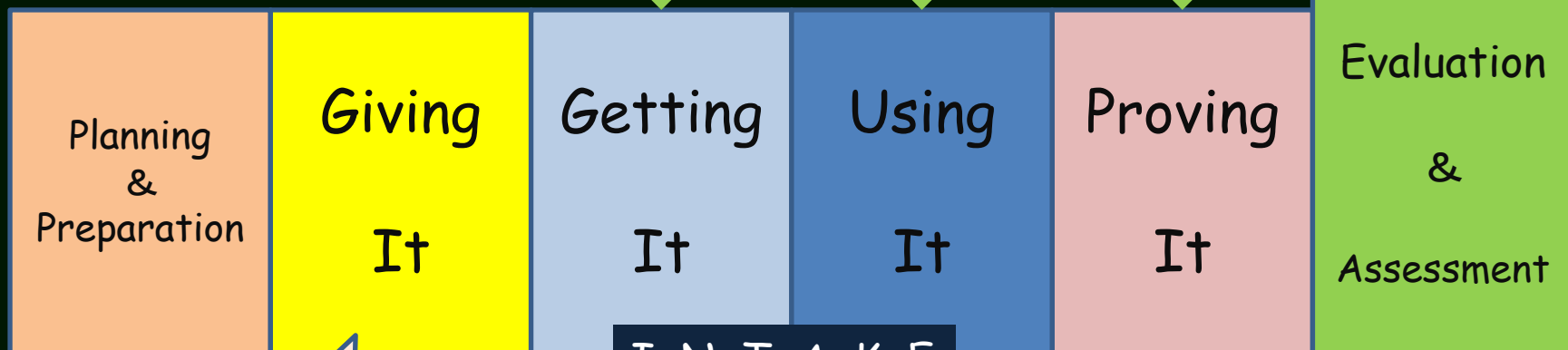
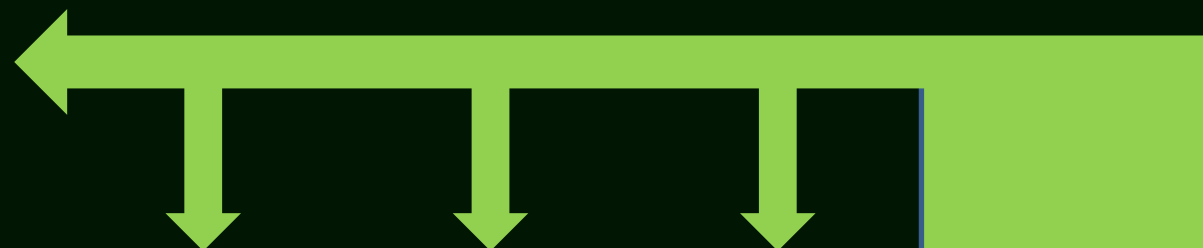


選択科目

- ・ 2学年 リーディング：3単位
- ・ 3学年 リーディング：2単位



基盤は、B-SLIM (資料1)



INTAKE

タネをまく

水をやる

芽を出す



(C) Dr. Olenka Bilash
University of Alberta

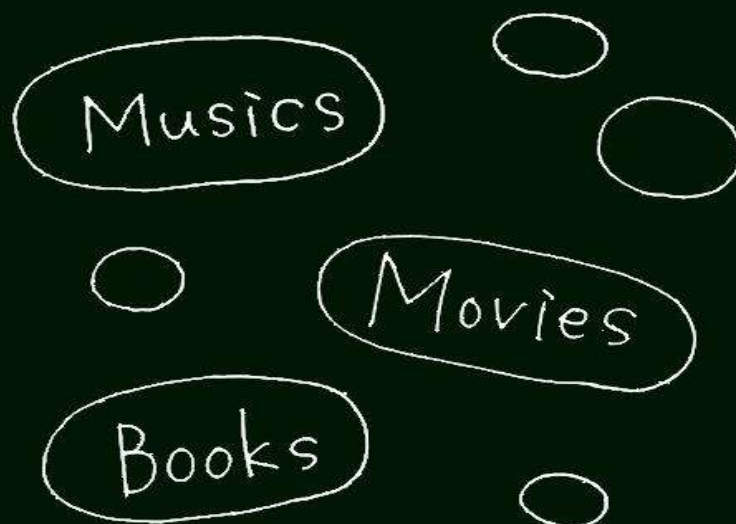


教科書を足場に、英語の世界へ！

- ①教科書でトレーニング（練習）
- ②様々な教材を活用し英語を聞く、話す、書く、読む（試合）



Textbook



Lessonの基本的な流れ

- ① オーラルイントロダクション
- ② 音読活動・内容把握
- ③ 文法解説・練習
- ④ トレーニング活動
- ⑤ コミュニケーション活動
- ⑥ まとめ（小テストなど）



1 コマの基本的な流れ

- ① あいさつ + Daily Questions
- ② ニュース (ウォームアップ)
- ③ 音読活動
- ④ 前時の復習
- ⑤ 活動
- ⑥ まとめ + あいさつ



ニュース（帯活動 資料5）

- “The Japan Times”から記事を引用
内容理解やQuiz、Discussionを行う
- 時事問題対策、スキミング力育成



ニュース（帯活動 資料5）

Q1. Who is she?

→ She is Mitsuko Mori.

Q2. How old was she?

→ She was 92 years old.

Q3. What is her real name?

→ It is Mitsu Murakami.



オーラル・イントロダクション

(Giving-It、資料4)

- ① 落穂拾い by ミレー
- ② ひまわり by ゴッホ
- ③ 叫び by ムンク
- ④ モナ・リザ by レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ⑤ 真珠の耳飾りの少女 by フェルメール



オーラル・イントロダクション

(Giving-It、資料4)

⑥ ゲルニカ by パブロ・ディエゴ・ホセ・
フランシスコ・デ・パウラ・
ファン・ネポムセーノ・マリア・
デ・ロス・レメディオス・
シブリアーノ・センティシマ・
トリニダード・ルイス・イ・
ピカソ!



音読活動 (Giving-It)

徐々にレベルアップ

- ① リピーティング (スラッシュごと)
- ② リピーティング (センテンスごと)
- ③ オーバーラッピング
- ④ リピーティング (教科書なし)
- ⑤ シャドーイング
- ⑥ バックトランスレーション



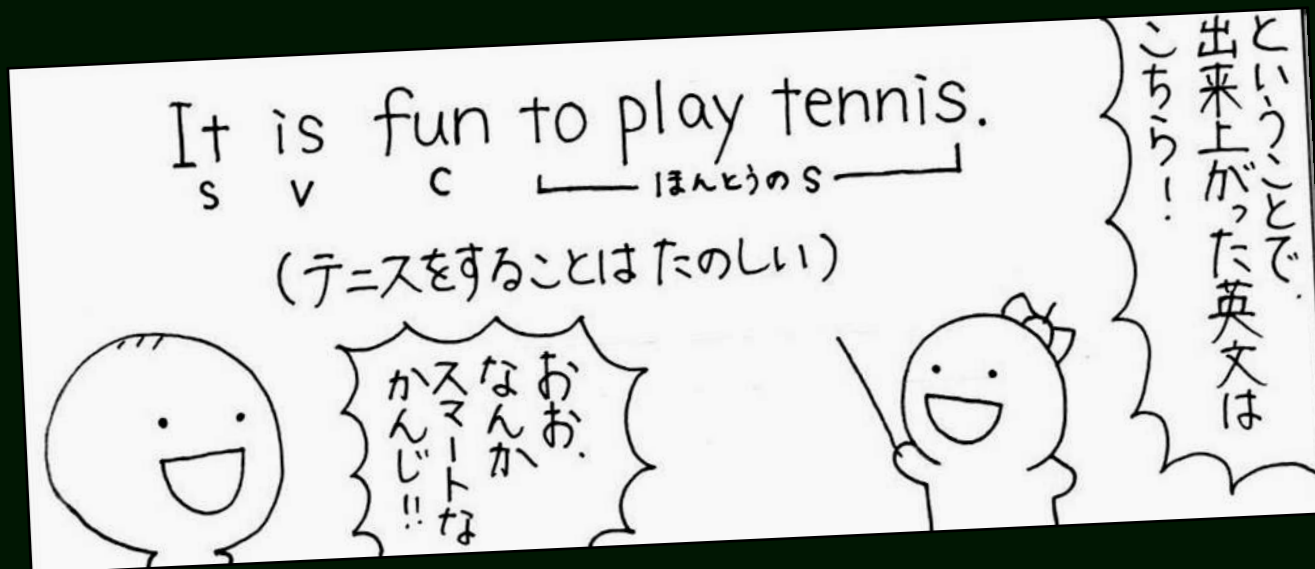
文法マンガ (Giving-It、資料7)

基本的な文法は、マンガで解説
(現在鋭意制作中...)




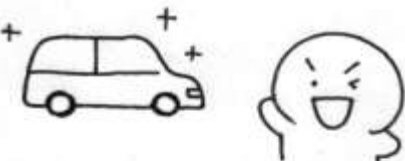


文法マンガ (Giving-It、資料7)

- つい読みたくなる！
- 解説に費やす時間を、大幅短縮！
- ただし、制作時間と労力が...
(課題：デジタル・アーカイブ化！)



トレーニング (Getting-It、資料8)

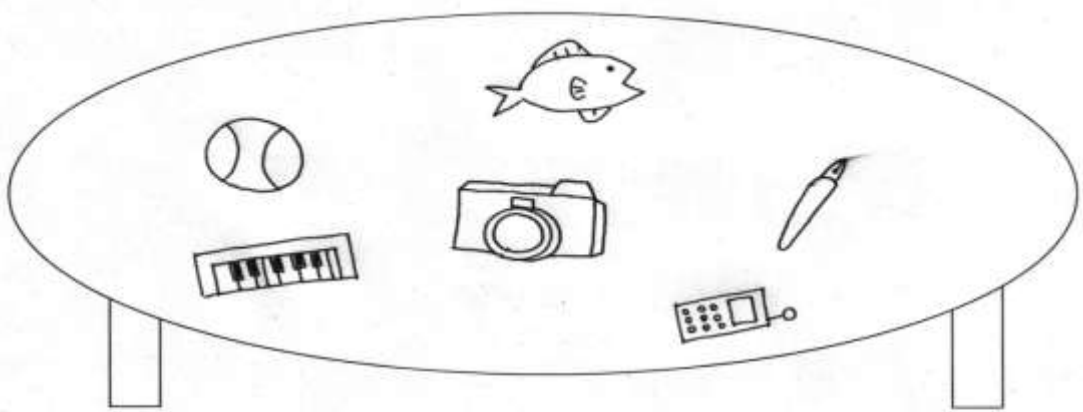
Information Gap等を活用し、
新しく習った文法や表現を練習する

<p>① What does Kenji like?</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>② Toshinori likes to study science.</p> 	<p>③ What does Miwa want to be in the future?</p> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>④ Hideaki want to buy a new car.</p> 	<p>⑤ Why does Asuka work so hard?</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>⑥ Shinobu want something to drink.</p> 
<p>⑦ What does Noriyasu want?</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>⑧ Yasuhiro want to be a Japanese teacher.</p> 	<p>⑨ What does Matthew want to do tomorrow?</p> <hr/> <hr/> <hr/>



コミュニケーション (Using-It、資料9)

トレーニングに少し負荷をプラス
→自分で文章を考え、コミュニケーション
(ツッコミどころを作るのがポイント！)



If you take [a ball], you will be [a baseball player].
If you take [a camera], you will be [a photographer].
If you take [a pen], you will be [a business person].



Music Channel (資料10)

生徒が歌詞を読みたくなるような教材選び
& 課題設定 (例: Story Searching)



Movie Channel (資料11)

- ① オーラル・イントロダクション
- ② 鑑賞 (with ストーリーボード)
- ③ ポストアクティビティ
(ストーリー解説、字幕作り、人物相関図作り等)

最近は、教科書で
“child labor”を扱ったため、
“ブラッド・ダイヤモンド”を
授業で鑑賞！



アウトプット活動 (Proving-It)

- プレゼンテーション (資料9)
- 英語面接 (3学年、就職活動に向けて)
- ファンレター (実際に海外に送付)
- レポート (資料12)
- TVショッピング (プレゼン活動)



生徒からの評価

(澤田クラス総合評価 平均)

3.5 / 4.0

- ・ 絵を使っでの解説はわかりやすい
- ・ 楽しい
- ・ 澤田先生の授業はわかりやすい



3. 未来へ向けて ～まとめ～



Evaluation & Assessment

- 旧態依然...
- 観点別評価の実施
- 達成目標、評価規準
 - シラバスへの反映
 - CAN-DOリストの作成



Evaluation & Assessment

- CAN-DO Passport作成 (したい...)

A2
Speaking:
Spoken
Interaction

I can communicate in simple and routine tasks requiring a simple and direct exchange of information on familiar topics and activities. I can handle very short social exchanges, even though I can't usually understand enough to let the conversation go myself.

Ex: I can make myself understood to people at stores, restaurants, and cafés.
I can answer simple questions about myself.
I can explain a simple game.
I can negotiate when speaking with peers.

Evidence

Date	Task	Feelings

**評価規準
(Can-Do Statement)**

達成した証拠



課題は山積み...(´・ω・`)

- 絵は思い出せるけれど、言葉を覚えていない（文法を活用できない）
- 訳のプリントがほしい
- 映画をもっと観たい
- そもそも、英語自体が嫌いだから、授業を楽しめない etc...

（授業評価アンケートより）



支援を要する生徒のために

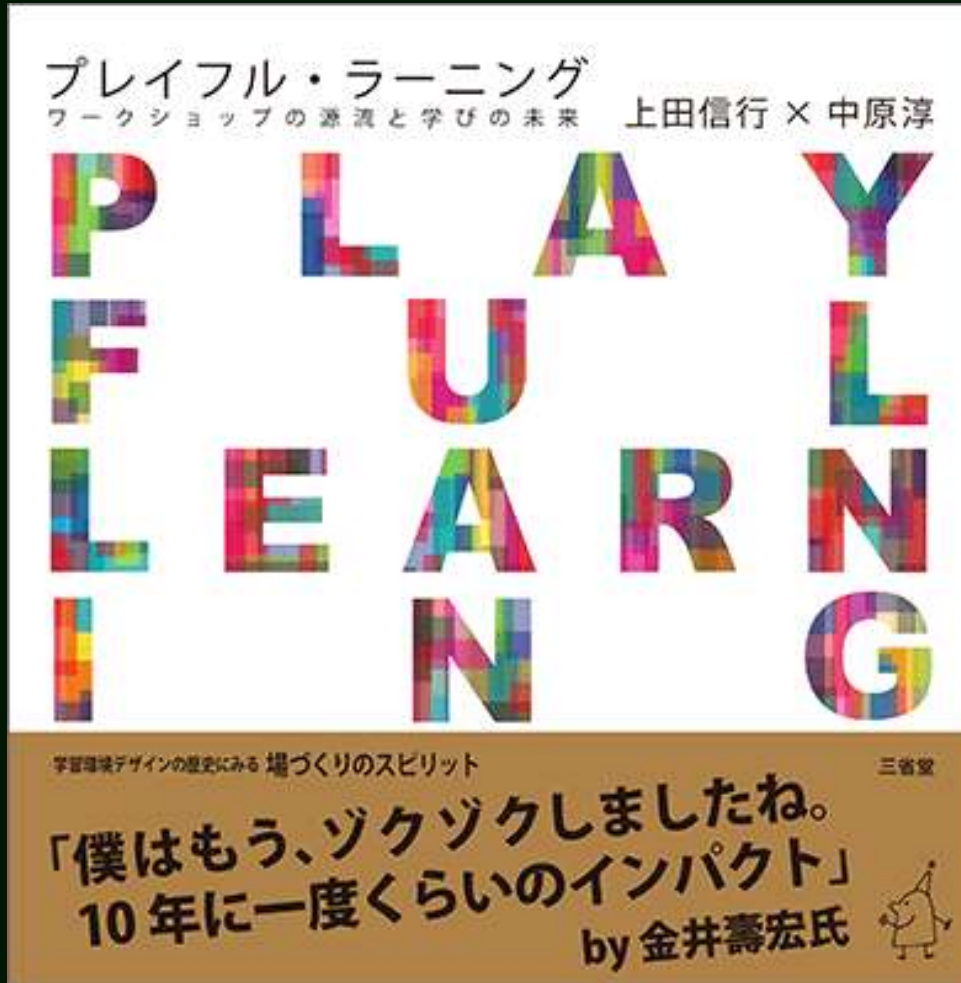
- ・ アルファベットを読めない、書けない
- ・ プリント、ノートに書くことが苦手
- ・ 授業中の指示が通りづらい
- ・ 図解は、かえって混乱させてしまう

→ 授業の軸は変えずに、より個に応じたケアができるスタイルを研究！



目指せ、Playful Learning!

- ・ 楽しいから学ぶ、学ぶから楽しい！



プレイフル・ラーニング
ーワークショップの
源流と学びの未来ー
(上田信行・中原淳 著)



学ぶことは、楽しむ

- ・ 教育の根底にあるのは、あこがれの伝染である。

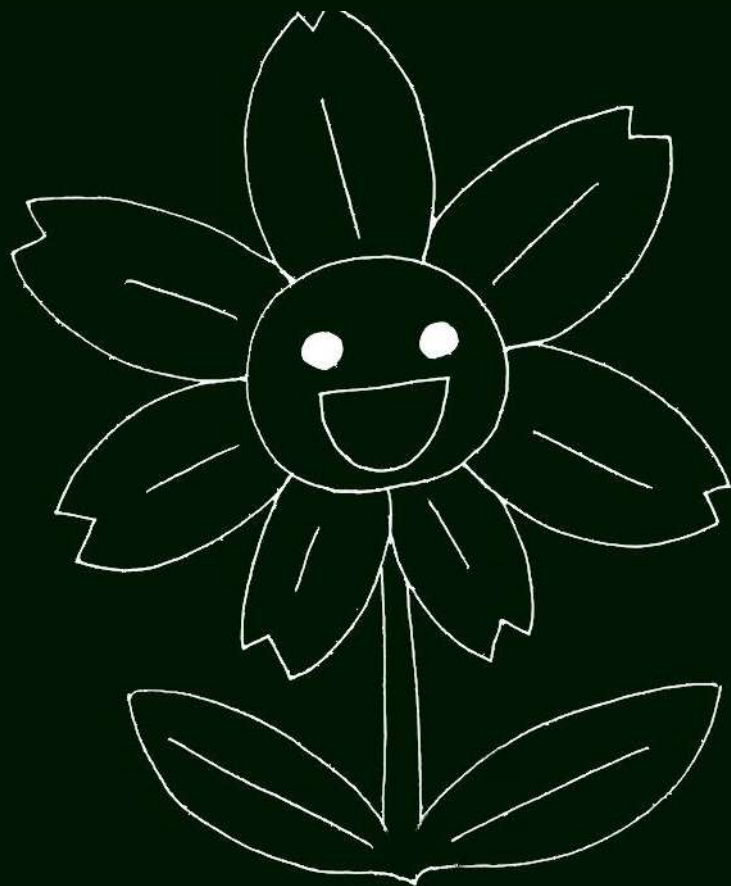
（『教育力』 齋藤孝著、岩波新書）

**まずは、教員自身が
英語を楽しむ姿を見せる！**



英語学習の、花を咲かせる

自ら積極的に英語を使うようになることが
目標！（読書、映画鑑賞、海外旅行など）



英語、やりたい！



ご静聴ありがとうございました！

sawarock@gmail.com

sawarock on 